

第12期第6回 小平市廃棄物減量等推進審議会

事務局からの報告事項（メモ）

1 3月議会報告

(1) 一般質問（概要）

質問 虻川 浩議員

「ごみ減量と使用済み小型家電回収で東京オリンピックの金メダルに貢献しよう」

- ① 小平市一般廃棄物処理基本計画の重点施策の実施スケジュールによると家庭ごみの有料化と戸別収集への移行を平成31年から実施するとなっているが、計画通りに実施されるのか。
- ② 市内9か所に設置された使用済み小型家電回収ボックス及び宅配によるそれぞれの直近の回収量と運用状況について。
- ③ 小型家電の回収後の扱いについて、宅配便で回収された小型家電等の中間前処理を、排出地近くの社会福祉施設に委託する試みについて、認定事業者の委託事業検討の進捗について。
- ④ 東京都と連携し、「使用済み小型家電回収で東京オリンピックの金メダルに貢献しよう」キャンペーンを実施し、ごみ減量と使用済み小型家電回収の啓発について。

答弁

- ① 一般廃棄物処理基本計画の重点施策の実施スケジュールのとおり、平成31年度実施に向けて、検討、準備を進めております。
- ② 小型家電の回収量と運用状況でございますが、昨年1月から12月までの回収量は、ボックスによる回収量が2,549kg、宅配便による回収量が9,134kgでございます。
運用状況でございますが、ボックスによる回収は、市職員が回収し、認定事業者に売却しており、宅配便による回収は、市民の皆様が、直接、認定事業者に申し込みを行い、認定事業者が回収を行うもので、市では、市ホームページや窓口等により、回収サービスの案内を行っております。
なお、平成27年11月からは、市内からの回収でパソコンが含まれているものに限り、手数料が無料となっております。
- ③ 認定事業者の委託事業検討の進捗状況でございますが、現在のところ、認定事業者から具体的な進展はないと伺っており、引き続き、検討状況については、情報提供を求めてまいります。
- ④ 東京都との連携による、ごみ減量と使用済み小型家電回収の啓発でございますが、小型家電回収による東京2020オリンピック・パラリンピックでのメダル制作におきましては、東京都や環境省と連携し、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が、国民参加型のプロジェクト「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」を、本年4月から開始することとしております。
このプロジェクトには、市が連携している認定事業者も含まれておりますことから、市といたしましては、啓発を含め、積極的に協力し、ごみの減量と小型家電リサイクル事業の推進を図ってまいります。

2 リサイクルきゃらばんについて

(1) 前回の実施報告

日 時：3月23日（木）午後1時から午後3時まで

場 所：サミットストア小平上水本町店

回収実績：陶磁器 1,450kg、小型家電27kg、牛乳パック5kg、雑貨類50kg、
廃食用油50ℓ、未利用食品88kg

3 平成28年度 主な事業の取組結果について

(1) 食物資源循環モデル事業 (予算額：13,235 千円)

平成28年度は、1,000世帯の参加を目指して、引き続き、生ごみ(食物資源)の資源化を推進し、ごみの減量や意識啓発に努めました。

【実績】平成29年3月31日現在 989世帯の参加 平成28年度末 936世帯
食物資源循環モデル事業実施報告書を策定し、平成29年度から「食物資源循環事業」として実施。

(2) 陶磁器のリサイクル事業 (予算額：1,065 千円)

引き続き、リサイクルきゃらばん(拠点回収)やイベントを通じて陶磁器製食器を回収し、リサイクルを進め、燃えないごみの減量を図りました。

【実績】陶磁器食器リサイクル量 5,370 kg H27年度：6,530 kg H26：4,970 kg

(3) リサイクルセンターの更新 (予算額：28,453 千円)

プラスチック製容器包装及びペットボトル以外の資源物の中間処理を行う施設としてリサイクルセンターを更新のための準備をしました。

【実績】リサイクルセンターの建設に伴う各種調査(測量、地歴、地質、生活環境影響調査、アスベスト等)を実施しました。

また、平成29年1月10日に、入札公告を行い、入札参加事業者との技術対話を行いました。

4 平成29年度小平市一般会計補正予算について

(1) 「家庭ごみの有料化及び戸別収集への移行」における関係経費(3,636 千円)

内訳：実施計画策定に伴う策定支援費、市報特集号における全戸配布費、臨時職員賃金

(2) PCB(低濃度)の処理における関係経費(2,804 千円)

内訳：PCB濃度分析調査及び、処理費用